

C型肝炎ウイルス治療の進歩

◎市川 辰樹¹⁾

長崎みなとメディカルセンター 消化器内科 臨床研究センター¹⁾

近年、C型肝炎ウイルス(HCV)治療の進歩は目覚ましいものがある。インターフェロン注射は必要なく、経口薬の12週間で治療は終了する。経口薬は副作用もほぼなく、治癒率も95%を超える。すなわちHCVは誰でも治る時代になったのである。ただし、HCVは治療しても病院通院から開放されるわけではない。肝発癌リスクは減少するが残り、脂質代謝の異常も注意が必要となる。

今回、当院で経口薬治療を行ったHCV症例250例のデータをもとに、HCV治療の現状と課題を明らかにしたい。

連絡先：長崎みなとメディカルセンター 095-822-3251